

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市五箇小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%					○
算数	66.6%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%					○
書くこと	54.5%					○
読むこと	81.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%					○

【考察】

- どの領域も全国平均正答率を大きく上回り、学習内容の定着がよく図られています。特に、国語科に対する関心・意欲が高く、資料から読み取ったことをもとに考えをまとめて書く力が育っています。また、言葉や漢字も正しく用いることができている児童が大変多いです。一方、同音異義の漢字の書き取りで誤りが見られたので、文の前後から意味を正しくとらえて正しい漢字を選択できるように授業や学習タイムの中でも指導していきます。
- 複数の資料から読み取ったことを整理して簡潔にまとめたり、接続語を使って分かりやすく書き直したりする力をさらに付けていくために、「読むこと」と「書くこと」を関連付けた学習に取り組ませていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%					○
量と測定	52.9%					○
図形	76.7%					○
数量関係	68.3%					○

【考察】

- どの領域も全国平均正答率を大きく上回り、算数科の学習内容の定着がよく図られています。特に、大きな数のわり算をきまりをもとに簡単な方法で考え答えを求める問題や複数のグラフを読み比べる問題で成果が見られました。
- 「量と測定」の問題では、面積をどのように求めていくかを説明する問題で、示された数や式に目を向けて求め方を説明する際に、図形の名称や必要な数字が抜けてしまう解答が見られました。正確な計算だけでなく、解決の過程を大事にし、ノートに書いたり、説明したりすることを授業の中で丁寧に取り上げていきます。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまりして いない	全くして いない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	五箇小	50.0	25.0	25.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合が高く、本校児童の学習に対する意欲や意識の高さを感じます。あまりしていないと答えた児童に関しては、帰宅後の時間の使い方や家庭学習の取組み方について、個別にかかわり、改善に向けて取り組ませていきます。
- 今後も、児童の学習の質・量をとともに高められるように指導の充実に努めてまいります。授業と関連付けながら調べ学習などに取り組ませたり、学習内容で自信が持てないところや分からないところを補うことを家庭学習の中に位置付けたりすることで、個々の児童が、計画的に取り組めるように指導していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	五箇小	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている高学年の家庭学習時間の「60分～80分」を多くの児童が達成しています。学校から出される課題等にきちんと取り組み、家庭学習の習慣化が図られていることがわかります。このことから、個々の児童が家庭学習に対して意欲的に取り組もうと努力する姿や家族が学校と協力して児童の取り組みを支える体制が機能していることがうかがえます。

- 「家庭学習スタンダード」をもとに、児童の実態に応じた課題を提示することで家庭学習の必要性を実感できるようにし、「メディアコントロールの取り組み」も地域で共有し推進することで、家庭学習の時間確保と充実に努めていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
	五箇小	0.0	0.0	25.0	37.5	25.0	12.5

(単位 %)

【考 察】

- 平日に30分以上の読書をする割合は、全国平均と比べると、低い傾向にあります。しかし、学校から出される課題をきちんと行い、放課後の課外活動や帰宅後の習い事やスポ少などにも精一杯取り組んでいる児童の実態を考え、平日に短時間でも意識して読書を心掛けるよう働きかけていきます。
- 本校では、図書室の充実を図るとともに、年間を通して「朝の読書タイム」や「担任と保護者ボランティア、サポートティチャーによる読み聞かせ」など、本に親しむ時間を日課表に位置付けています。家庭においても「メディアコントロールの取り組み」と関連させながら、読書をする時間を工夫して設けることにご協力をお願いします。

4 自分には、よいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全国	38.8	42.4	13.4	5.3
	五箇小	50.0	37.5	0.0	12.5

(単位 %)

【考 察】

- 本校の児童は、自分の良さを認識する割合が高い傾向にあります。一方、自分に自信が持てない児童も見られるので、学校や学級の活動を通して、自己肯定感を高めていけるような働きかけを行っていきます。
- 本校は、伝統である『三つのちかい』（「ひとつ みんなで仲良く勉強します」「ふたつ 力を合わせてがんばります」「みつつ 自分も人も大切にします」）を大切に指導しています。これからも、『自分も人も大切に』児童を育ててまいります。また、学校と家庭が共に、児童の日常生活での努力や思いやりを持った行動を認め価値づけていくことで、児童が自らの個性を發揮し、自分のよいところに自信を持って生活できるようにしていきます。